

## 学内ニュース



### 平成17年度環境講演会

#### 「島のみならず考えたい、ひとつとではない、ツバルの危機」

6月6日、附属図書館1階多目的ホールにて、国際NGO **Tuvalu Overview** 日本事務局代表の遠藤秀一氏を講師として招き、「島のみならず考えたい、ひとつとではない、ツバルの危機」と題した平成17年度環境講演会が開催された。

同講演会は、環境省が定めた6月の「環境月間」行事の一環として、本学学生、教職員が広く環境の保全について関心や理解を深め、積極的に行動する契機とするために、本学エコロジカル・キャンパス推進委員会、沖縄県地球温暖化防止活動推進センターが主催し、開催したものである。



講演を行う遠藤氏

ツバルは、オセアニアに位置する9つの島からなる小さな国であり、海拔数メートルしかなく、現在、地球温暖化による海水面の上昇で、水没の危機に瀕している。遠藤氏は大量生産、大量消費の我々の生活スタイルが地球温暖化を招き、温暖化に何の責任もないツバルを窮地に追い込んでいると講演で話した。

遠藤氏はカメラマンでもあり、紹介された非常に美しいツバルの写真は、講演を一層印象深いものにしていった。

質疑応答の時間では、「消費を押しやる生活への改善というのは、観光を主要産業とし、観光客の消費拡大を目指す沖縄では、現実的に厳しいのではないか」という学生の鋭い意見もあり、大変充実したものとなった。

今回の講演には教職員及び学生70名余が参加して会場は満席となり、環境に対する関心の高さを伺わせた。